

◆佐渡金銀山の情報をお伝えします



佐渡金銀山だより

Sado Gold and Silver Mine Newsletter

新潟市万代市民会館で
「県民講座」
が開催されました

Vol.10
2014.9.30

平成26年5月31日(土)、新潟市万代市民会館において、世界遺産県民講座「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」を開催し、200名以上の方々が参加しました。

はじめに京都府立大学大学院の大場修教授から相川の町家の特徴や魅力について新潟や佐渡島内のほかの地域と比較しながら、わかりやすく御講演いただきました。

続いて、佐渡市世界遺産推進課の山口由加利学芸員から、佐渡金銀山の概要説明と相川での町歩きや座談会といった普及・啓発活動事例などについて紹介がありました。

参加者からは「相川の町を歩いて旅する楽しさが増えました。」「解説がわかりやすかった。地元の人が地元を知るということは大事だと思う。」などの声が寄せられ、非常に好評でした。

Sado Gold and Silver Mine
Newsletter

第10号 INDEX

- 2 …… ▶新潟県泉田知事が佐渡金銀山を視察
▶県議連活動報告①定例会開催②平泉視察
- 3 …… ▶第38回ユネスコ世界遺産委員会に県の担当者がオブザーバー参加▶ヤング博士石見銀山視察、推薦書作成ワーキング会議開催
- 4 …… ▶佐渡金銀山世界遺産連続講演会 第1回金の道・北国街道サミットを開催▶東京新潟 県人会第48回納涼大会でのPR▶イオン新潟フェア
- 5 …… ▶世界遺産登録を目指す佐渡金銀山親子見学ツアー▶親子で歩く佐渡金銀山(西三川編)▶県立新潟高校で出前講座を開催
- 6 …… ▶県民会議担当者会議(上越・中越・下越・佐渡)報告▶佐渡金銀山世界遺産県民会議会員 活動報告▶新潟駅等県内主要駅にて懸垂幕掲出及びJ・ADビジョン放映
- 7 …… ▶上寺町地区が国史跡に追加指定▶西三川砂金山跡を発掘調査しています
- 8 …… ▶平成26年度今後のイベント情報
▶書籍紹介

金銀山 NEWS

新潟県泉田知事が佐渡金銀山を視察

8月4日(月)に知事が相川地区の関連資産を中心に視察しました。知事は

過去に二度視察を行っていますが、今回は昨年7月に新たに一般公開を始めた南沢疎水道や大切山坑などが対象でした。

施設所有者の株式会社ゴールデン佐渡職員の案内で、ヘルメット、長靴、懐中電灯で身を固め坑道内に入りました。視察後には「金獲得のための人々の苦労や、知識や技術を駆使した採掘の結果が体験できる場所である。世界の遺産として確実に残していかなければならない。」と、登録実現に向けて改めて意気込みを語りました。



新潟県「佐渡金銀山」=世界遺産登録推進議員連盟=活動報告

定例会開催

平成26年6月27日、平成26年度第1回定例会が県庁議会庁舎第5委員会室にて開催されました。

総会では、平成26年度の事業計画等が説明され承認されました。

その後、東北地域環境研究室代表の志賀秀一氏から、「世界遺産を核とした地域づくりに向けて」と題し、地域が培ってきたかけがえのない歴史や文化を活用して、いかに一体となって地域の力を高めるかについて、既に世界遺産に登録された平泉の取組を例に講演していただきました。

各議員は、佐渡金銀山の世界遺産登録の取組を地域づくりに活かすための地域間の連携などについて、熱心に聞き入っていました。



中野洸会長あいさつ

平泉視察

平成26年7月22・23日に、平泉で世界遺産先進地視察が行われました。

7月22日は、平泉町総務企画課の八重樫課長補佐から、平泉町の景観形成まちづくりなど世界遺産に関する取組について説明していただきました。その後、平泉の町並みを視察しました。議員からは景観条例の具体的な内容、世界遺産に関する県と町の連携などについて活発な質問が出されました。

翌日は、世界遺産の構成資産である毛越寺、中尊寺などを視察した後、菅原正義平泉町長からお話を伺いました。



平泉文化遺産センター視察

第38回ユネスコ世界遺産委員会に県の担当者がオブザーバー参加

平成26年6月15日(日)から25日(水)にかけて、中東カタールの首都ドーハで世界遺産委員会が開催されました。

今回は、平成24年度に推薦されていた「富岡製糸場と絹産業遺産群」(群馬県)の記載の可否が審議され、4月に出されたユネスコ諮問機関の国際記念物遺跡会議(ICOMOS)の勧告どおり、委員国の圧倒的な支持により全会一致で「記載」が決定しました。これで、日本の世界遺産は18件(文化:14件、自然:4件)になりました。

また、今年の委員会では、新規・継続合わせて36件の審議が行われ、26件が新たに世界遺産の仲間入りを果たしました。

この中で注目されるのは、ICOMOSの「記載」勧告が15件だったのに対し、委員会での審議結果が11件も増えたことです。

近年は同じような状況が続いていますが、学術的な専門組織の評価と委員会という外交官中心組織の評価との間に、大きな乖離があるということです。

世界遺産といえども、政治的な駆け引きとは無縁ではないことを改めて痛感しました。



会場風景



ICOMOS会長(左)と副会長(中)



世界文化遺産「アル・ズバラ考古遺跡」

ヤング博士石見銀山視察、推薦書作成ワーキング会議開催

世界遺産推薦書原案を今年度末に完成させるため、現在はその作成に力を入れています。昨年度末に文化庁に提出した素案は、7月の世界文化遺産特別委員会でも多くの課題を指摘されました。この課題に応え、完成度の高い推薦書の作成を目指す必要があります。そのための様々な検討を行いました。

佐渡金銀山と石見銀山の比較研究を行い、両者の違いを打ち出すため、6月2日から4日まで、クリストファー・ヤング博士(イギリス、前イングリッシュ・ヘリテージ世界遺産・国際政策担当責任者)に、世界遺産石見銀山遺跡を視察していただきました。

石見銀山の担当者の方々との意見交換も行い、実り多いものとなりました。

その後、東京に会場を移し、6月5日は佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会の先生方、文化庁にも入っていただき、推薦書作成ワーキング会議を開催しました。7月28日にも、ワーキング会議を開催し、推薦書原案に磨きをかけているところです。



佐渡金銀山
世界遺産連続
講演会

第1回～金の道・北国街道サミット～を開催

【平成26年8月31日(日)、上越文化会館】

より多くの県民の皆様には佐渡金銀山の魅力や価値を知ってもらうため、今年度は連続講演会を開催しています。第1回は、佐渡の金銀を江戸まで運ぶ輸送路であった「北国街道」をテーマに超満員となる170名の皆様からご参加をいただきました。

講演では、県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室の余湖副参事が、江戸時代初期の幕府財政に佐渡金銀山が大きな役割を果たしていたこと、北国街道の御金荷輸送システムなどについて説明し、佐渡の金銀を江戸まで運んだ、北国街道がいかに重要な役割を果たしたかを紹介しました。パネルディスカッションでは、「金の道～北国街道に見る文化と歴史」と題し、佐渡を世界遺産にする新潟の会の池田哲夫会長をコーディネーターとして、6名のパネリスト（佐渡学センターの渡邊所長、道の駅 越後出雲崎天領の里の三輪館長、上越郷土研究会の花ヶ前会長、北国街道の手をつなぐ会の金子会長、上越市立総合博物館の花岡主任学芸員、妙高市教育委員会生涯学習課の佐藤主査）の皆様から当時の御金荷通行の様子や佐渡金銀山との「つながり」について様々な興味深いエピソードをお話しいただきました。また休憩中に、NPO上越市民謡協会による佐渡おけさや谷浜口説の披露が行われました。参加者からは、「金を守るための藩の動きがよくわかった」「本日の講演会で北国街道を通し、（佐渡が）大変身近になりました」などの声が寄せられました。尚、第2回は長岡市、第3回は新潟市で開催します。日時等は、裏面の今後のイベント情報を御覧ください。



東京新潟県人会 第48回納涼大会でのPR

7月21日、東京新潟県人会第48回納涼大会が東京・文京区のホテル椿山荘東京で開かれ、県世界遺産登録推進室北村亮室長が「佐渡金銀山の世界遺産登録への展望」と題して講演しました。

当日は、本県出身の首都圏在住者など約700名の参加者に、佐渡金銀山の価値や登録までの流れ、また登録後も視野に入れた来訪者の受入体制整備などの課題について説明し、理解と支援をお願いしました。

講演に先だって挨拶した東京新潟県人会館川村理事長から「首都圏からも盛り上げていこう」と力強いエールが送られるなど、登録に向けて貴重なPRの場となりました。



イオン新潟フェア

7月5日(土)、新潟県・佐渡市とイオンリテール(株)は佐渡金銀山の世界遺産登録にむけたPRとして、イオンモール新潟南での新潟県・イオン包括連携協定締結3周年記念企画「新潟フェア」で、小学生などを対象とした砂金採り体験、金塊つかみ取り体験を実施しました。会場では多くの子どもたちが熱心に砂金を探したり、金塊のレプリカに触れて歓声を上げていました。



「世界遺産登録を目指す佐渡金銀山親子見学ツアー」

【新潟港発着/平成26.8.3日】

毎年一般向けに開催していた現地見学会ですが、今年は若い世代にも佐渡金銀山への理解を深めてもらうため、小学生とその保護者を対象にしたツアーを開催しました。当日は晴天に恵まれ、参加した32名は相川中学校の観光ボランティアガイドの案内で、京町通りの歴史あるまちなみや佐渡奉行所、史跡佐渡金山の宗太夫コースを見学しました。また、佐渡市の「親子で歩く佐渡金銀山」(相川編)と共同開催し、佐渡市の親子と一緒に佐渡おけさを体験しました。参加者からは、「地元の中学生の意気込みが感じられました」、「金山だけでなく相川の町も知る事が出来てとても良かった」などの感想をいただきました。ご参加くださった皆さまに感謝申し上げるとともに御協力いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。



親子で歩く佐渡金銀山(西三川編)



平成26年6月15日(日)に、「親子で歩く佐渡金銀山(西三川編)」を実施しました。当日は3班に分かれ、「笹川の景観を守る会」の方々の案内で、集落内を散策しました。その後、集落内を流れる川で砂金採りを体験しました。ここでも「笹川の景観を守る会」の方々に、かつて、砂金採りに使用していた道具の用意と、採金方法の指導をいただきました。

子供たちは、散策の案内、砂金採りの指導に真剣に耳を傾けていました。

地元の方が一丸となって、集落の歴史を伝えていく姿勢は印象的であり、その熱意は参加者にも伝わったように感じました。



県立新潟高校
で出前講座を
開催

新入生意識啓発講演会

～佐渡の歴史的価値と語学力の再認識～

県立新潟高等学校 教諭 齋藤達也

出前講座



標記講演会を7月上旬に開催しお招きした新潟県文化行政課世界遺産登録推進室の吉田参与には、佐渡の魅力や語学力の必要性について熱弁をふるっていただき、生徒は多くの刺激を受けたようである。生徒の感想について一部を右に抜粋する。

佐渡市以外の高等学校で、世界遺産に関する講演会が開催されたのは本校が初めてとのこと。もっと多くの高校生たちに佐渡をはじめとした本県の魅力ある地域遺産に関心を抱いてもらえればと思う。そして国内外のあらゆる場面で魅力発信のスポークスマンになってもらいたいと祈念してやまない。

- ・ 小学校の修学旅行で佐渡に行ったときは、あまり興味を持てなかったが、今回の話を聞いて自分の知らない佐渡の歴史のすごさを感じた。
- ・ 世界には人々に認められてきたたくさんの遺産があることを知った。そのような遺産は人々の考えの発信なくしては受け継がれていかないこともわかった。私は自分の考えを言うことがあまり得意ではないけれど、少しずつ克服して、現代に生きる者として未来に何らかのモノを残したい。
- ・ 国際的な場面で海外の人々と対等に渡り合えるだけの英語力は当然必要である。そのためにまずは英語の勉強をがんばりたい。

県民会議担当者会議（上越・中越・下越・佐渡）報告

平成26年5月13日から6月3日にかけて、上越、中越、下越、佐渡の県内4か所で「佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議担当者会議」を開催し、延べ202名の県民会議会員が出席しました。はじめに事務局の担当者から、世界遺産及び佐渡金銀山の概要、県民会議の活動方針などについての説明があり、その後意見交換を行いました。

意見交換では「佐渡で上中下越の会員が一同に集まる活動を検討してほしい。」「ロゴマーク入りのピンバッジをもっと全県的に普及させてはどうか。」など意見がありました。今後、意見を踏まえて、事業の実施や行動計画の作成を進めてまいります。



下越地域会場の様子

佐渡金銀山世界遺産県民会議会員 活動報告

◆伊藤園のキャンペーン

平成26年8月1日～10月31日の間、㈱伊藤園（東京都渋谷区）が、「お茶で日本を美しく。」キャンペーンの一つとして、昨年度に続いて「お茶で新潟を美しく。」キャンペーンを実施し、「お〜いお茶」飲料製品売上の一部を地域の環境保全への寄付、清掃などのボランティア活動など佐渡金銀山の世界遺産登録を支援する活動を行っています。



景観保全のための竹林伐採

◆麒麟ビールキャンペーン

平成26年4月21日～6月30日の間、麒麟ビールマーケティング株式会社新潟支社は、佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議の会員として応援するため、「新潟県限定!新・一番搾り誕生記念『黄金の至福』プレゼントキャンペーン」を実施し、キャンペーンプレゼントとして「純金製 復元正徳佐渡小判」を抽選で3名に進呈しました。



佐渡小判を手説明する中島新潟支社長

新潟駅等県内主要駅にて懸垂幕掲出及びJ・ADビジョン放映

平成26年7月1日～10月31日の間、新潟県、佐渡市及び佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議は、佐渡金銀山の世界遺産登録について気運醸成するため、人通りが多く広告効果が高い新潟駅に「佐渡金銀山を世界遺産に」をキャッチコピーに懸垂幕を掲出しました。また、同期間に新潟駅、長岡駅、高田駅、村上駅など県内主要駅にて、ネイチャーフォトグラファー天野尚氏が撮影した道遊の割戸・大間港・南沢疎水道の写真をJ・ADビジョンにより放映しました。



上寺町地区が国史跡に追加指定

相川で金銀の採掘が開始された江戸時代初め、日本各地から多くの人々が相川へと集まってきました。それに伴い数多くの寺院が建立された場所が「上寺町地区」です。

上寺町の成立は1607（慶長12）年の源昌寺（浄土宗）に始まります。17世紀前半には6か寺が建立され、18世紀前半には最多となる8か寺が所在したことが明らかになっています。現在も斜面地を造成した平坦地や寺院の基礎・石垣・石段、井戸跡などのほか、墓石等の石造物も数多く残されています。加えて絵図や古文書などの資料からも寺院群の変遷や規模などを知ることができ、江戸時代に鉱山に暮らした人々の信仰の様子を物語っています。

こうした価値が評価され、国史跡佐渡金銀山遺跡に追加指定されることが決まりました。



寺院跡の石垣と石段（興禪寺跡）



数多く残る墓石群（法久寺跡）

西三川砂金山跡を発掘調査しています

地域にお住まいの方の協力を得て、今年6月から西三川砂金山跡の発掘調査を行っています。調査箇所は、「五社屋山」と呼ばれる砂金山（採掘地）です。この場所は、文献や絵図などから江戸時代中期にはすでに山の形を変える程の大規模な砂金採りが行われていたと考えられています。

今回調査したのは、砂金流しのための水を溜めた堤（溜池）跡〔写真右上〕と水路跡〔写真右下〕です。堤の調査では、文献と実際の遺跡の寸法がほぼ一致していることが分かりました。また、堤の底からは実際に水を溜めたときに土が少しずつ積み重なっていった状況が確認できました。水路の調査では、護岸の石積みが整然と列をなして見つかり、水が流れるように高低差を計算しながら土地を造成している様子も分かりました。「砂金流し」という金生産システムの実態が少しずつ明らかになっています。



五社屋堤（水溜）跡



水路跡

平成26年度

今 後 の イ ベ ン ト 情 報

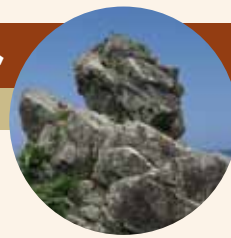
※詳細は、チラシやホームページ、市報さど、CNS等でお知らせします。

■ワンダーアイランド佐渡:3つの宝物をもつ島を知る 3資産イベント

お問い合わせ:佐渡市世界遺産推進課 申込不要、参加費無料

◆佐渡の3つの宝、佐渡金銀山、佐渡ジオパーク、ジアス (GIAHS:世界農業遺産) について知っていただくイベントを開催します。

- ・日時:平成26年11月2日(日)12:30~16:00 ・会場:アミューズメント佐渡(ドリーミーホールほか)
- ・内容:①基調講演:「世界産金史の中の佐渡金山の特徴」 講師:井澤 英二 氏(九州大学名誉教授)
②パネルディスカッション「佐渡の成り立ちを3資産から考える」
パネリスト 井澤 英二 氏(九州大学名誉教授)、島津 光夫 氏(新潟大学名誉教授)
永田 明 氏(国際連合大学サステナビリティ高等研究所シニア・プログラムコーディネーター)
コーディネーター 渡邊 剛忠氏(佐渡学センター所長)
③その他・体験コーナー・展示ブース



■佐渡金銀山世界遺産連続講演会(第2回)

お問い合わせ・申込み先:新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 要事前申込 入場無料

世界遺産登録候補佐渡金銀山の魅力について講演を行います。また、「世界遺産つながり」として、ユネスコ無形文化遺産小千谷縮・越後上布の展示と、同候補綾子舞の披露を行います。

- ・日時:平成26年12月21日(日)13:00~16:00
- ・会場:シティーホールプラザ アオーレ長岡市民交流ホールA



■佐渡金銀山世界遺産連続講演会(第3回)

お問い合わせ・申込み先:新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 要事前申込 入場無料

◆近藤誠一前文化庁長官を講師にお招きして御講演いただく予定です。

- ・日時:平成27年 2月 1日(日)13:00~15:30(予定) ・会場:朱鷺メッセ マリンホール



■佐渡金銀山地域巡回講演会

お問い合わせ:佐渡市世界遺産推進課 申込不要、参加費無料

◆テーマ「佐渡世界遺産への道」 講師:吉田 博(新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室参与)

- ①両津地区・日時:平成26年10月22日(水)18:00~ ・場所:佐渡島開発総合センター
- ②金井地区・日時:平成26年11月4日(火)18:00~ ・場所:金井コミュニティーセンター



<書籍紹介>

『甦る鉱山都市の記憶 佐渡金銀山を世界遺産に』

「今昔物語集」の時代から黄金を産み出してきた島、佐渡。

この世界的にも稀有な鉱山都市の歴史と人々の営みを、鉱山史、考古学、都市論、文化・芸術・芸能、地域創造などさまざまな専門分野から検証する。豪華な執筆陣が、世界遺産としての「顕著で普遍的価値」にせまる。

編著 五十嵐敬喜(日本景観学会会長、弁護士)
岩槻邦男(兵庫県立人と自然の博物館名誉館長、東京大学名誉教授)

西村幸夫(日本イコモス国内委員会委員長、東京大学教授)

松浦晃一郎(ユネスコ前事務局長)

定価:1,944円(税込) 発行:株式会社ブクエ

県内大型書店にて御購入いただけます。



★パネル・ポスター展示

10/1~2月頃まで	(水)~	パネル展 (佐渡汽船新潟港ターミナル)
10/14~11/13	(火)~(木)	佐渡金銀山巡回展 (畑野行政サービスセンター)
11/17~12/18	(月)~(木)	佐渡金銀山巡回展 (真野行政サービスセンター)
12/22~1/22	(月)~(木)	佐渡金銀山巡回展(両津支所)
1/26~2/26	(月)~(木)	佐渡金銀山巡回展(本庁舎)
11/25~1/9	(火)~(金)	佐渡金銀山パネル展(JA 羽茂)

Facebookを開設しています。

県文化行政課世界遺産登録推進室では、イベントのお知らせ、視察報告等をフェイスブックで紹介しています。

<https://www.facebook.com/SadoGoldMine>

新潟県・佐渡市

平成26年9月30日発行

新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 TEL025-280-5726
FAX025-280-5764 E-mail ngt500080@pref.niigata.lg.jp
HP <http://www.pref.niigata.lg.jp/bunkagyosei/1196266594688.html>
佐渡市世界遺産推進課 TEL0259-63-5136
FAX0259-63-6130 E-mail k-goldmine@city.sado.niigata.jp
HP <http://www.city.sado.niigata.jp/mine/index.html>